

保育実践（身体づくり）

研究会



6月2日

初回の研究会では、講師の先生の講義「心と身体を育む環境づくり～子どもがワクワクする遊びとは？遊びによって育つ力を支える保育者の役割～」から始まりました。便利な世の中となり、日々の生活体験が減少したことが、体力の低下に繋がっているので、日々の小さな「積み重ね」が重要であるということや、子どもが「未経験の動き」を経験する機会を保障する必要があることをお話していただきました。子どもがやりたくなるきっかけづくりや遊びのスモールステップ、乳児が「自分で動ける」ための環境づくりについても学びました。講義の後スタジオに移動し、くまさん歩きやタッチタッチゲームなど、いろいろな運動遊びを学びながら楽しく身体を動かしました。

